

2025年10月3日
No.2504

- 現業評議会本部役員と組合本部執行部との意見交換会
- 現評レク名古屋港船上BBQ
- 11月8日学習講座のご案内

現 評

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市千種区竹橋町36-31
代 表 052-433-7373
F A X 0120-930-340
<http://www.aichikenshoku.gr.jp>
gengyou24@aichikenshoku.gr.jp

現評本部役員と組合本部執行部が意見交換会 現評の取り組みへの積極的支援を訴え

賃金水準の改善や、定年年齢の引き上げを踏まえた働き方、職場環境の問題など、現業組合員が抱える課題について、組合本部と共有し、一体となって改善を図るため、昨年に続き、現評本部役員と組合本部執行部との意見交換会を行いました。

今年実施した実態アンケートでは、50代の約4割が「ここ数年で退職を考えた事がある」としており、組織の活性化を図るための任用や働き方の方策等、意見交換を図るとともに、引き続き現評の取り組みに対して積極的な支援を訴えました。

組合員が抱える 課題を共有

「正規職員の確保」

「職員」の募集方法について検討を

「当面正規職員で行う業務」と位置づけられている現業職場においては、退職等により生じた欠員は、正規職員を配置し、確実に確保するよう、県当局に強く働きかけてほしい。

また、農業関係の職場では非常勤職員を公募しても

勤務地が遠隔地であったり現場作業で敬遠されるため希望者がなく、正規職員の負担になっているとの声も聞く。確実な非常勤職員の確保も課題である。

↓（組合本部執行部）現在、県のホームページからのみとなっている職員の募集方法の改善について、機会を捉えて組合として要望していきたい。

「賃金水準の改善」

引き続き「早期の主任昇任」が課題

現業職員の採用者は大半

<意見交換会参加メンバー>

- ◆現評本部役員・・・田邊議長、下野副議長
- ◆組合本部執行部・・・田中委員長、谷口副委員長、早川副委員長、石原書記長、後藤書記次長、河村組織部長

が30代、40代の中途採用者が多く、採用時の初任給は前歴加算はされるが、一般職と比較して低い水準にある。また、主任級要件の、県歴10年未満の要件は撤廃されたが、初任給基準に88号給を足した標準到達号給が足かせになり、実質早期昇任に結びつかないため、前歴加算の見直しや、年齢保障給の見直し、標準到達号給88号給の改善を検討課題とするなど、引き続き、賃金水準の底上げを図るよう強く県当局に働きかけてほしい。

「人事評価制度」

現業組合員の士気を向上させる制度に

人事評価制度について、公平性、透明性、客観性、納得性を確保し、現業組合員の士気を向上させる制度とするよう、当局に強く働きかけてほしい。

↓（組合本部執行部）制度が現業組合員にとって、公平、公正、納得できる制度としていく必要があると考える。



現業組合員の課題を組合本部(写真上)に訴える田邊議長、下野副議長(写真下)

『定年延長を踏まえた働き方・任用』

65歳まで安心して働けるように
定年年齢の段階的引き上げにより、現業組合員の高齢化が一層進むため、安心して働き続けることができるよう、働き方の検討や業種間を超えた現業職場の任用の検討を行っていく必要がある。

現業組合員は働く職場が限定されるため、人間関係がより深刻になるケースもあり、新たな職種に挑戦することが組織の活性化につながると思われる。

65歳まで安心して継続して働き続けられるように、現業職場間での職種変更など働き方の選択肢を広げてほしい。

↓（組合本部執行部）職員の高齢化が進む状況で、安心して継続して働き続けられるよう、本部としても働き方の選択肢を広げていく必要があると考える。

現評の取り組み周知

「現評」の取り組みについて、県職全体で共有を

私たち現業評議会の取り組みについて、現業職場の直営堅持が公共サービスに不可欠である実態を明確にするため、県職全体で共有できるように、組合員全体にも周知していただきたい。

↓（組合本部執行部）今後機関紙「愛知県職」で現業職場の紹介や職場集会の様子などを中心に、広く現業評議会の活動を組合員全体に周知させていきたい。

また、これらの項目以外でも、

- ① 組合本部の会議への参加など、相当の年休を使用しており負担が大きい。このままでは役員のなり手もいなくなる。会議のあり方や役員の負担軽減策をしっかりと検討していただきたい。
- ② がんセンター建て替え整備が始まる。現在組

合員がいる給食業務について、正規職員の雇用を守る立場でしっかりと取り組んで欲しい。

③ 動物愛護センターにおいて、現在、譲渡推進施設基本構想調査の検討が進められている。現業職員の処遇や業務のあり方がどのような見直しが行われるか懸念されることから、組合本部としても情報を集め、組合員が不利益とならないようにして頂きたい。

— などについて、意見交換をしました。

これらについて、組合本部田中委員長は「現業組合員を代表する現評役員から、組合員が抱える課題をしっかりと聞かせていただいた。組合本部としてもしっかりと受け止め、組合として取り組むべきことはしっかりと取り組んでいく。本日の意見交換会で出された意見をしっかりと刻み、現業評議会役員と一体となって、課題解決に向け、引き続き取り組みを進めていきたい」としました。

2025年度現業交流レク

名古屋港クルージングBBQで交流を深める

8月30日（土）、現業交流レクとして、名古屋港をクルージングする「名古屋港船上BBQ」を実施し、16名が参加しました。

この日の名古屋の最高気温は40℃に達しようかという日でしたが、堀川から名古屋港ガーデン埠頭で折り返しの2時間周遊、景色が変わる旅気分、土曜の昼のひととき、名古屋港をクルージングしながら、バーベキューで盛大に盛り上がり、交流を深めました。



現評学習講座の案内

11月8日（土）14:00～
アイリス愛知にて開催

人事課との意見交換会の総括とともに、2026年度の現評の取り組み方針を参加者全員で議論します。

また、学習会後に、秋の味覚を味わう交流会も実施します。

機関紙「現評」と併せて、開催のご案内を送付していますので、参加希望の方は、職場代表者を通じて申込みをお願いします！

現業組合員ならどなたでも
参加できます！

